

**アステラス製薬と Pantherna 社  
mRNA を用いたダイレクトリプログラミングによる  
再生医療プログラム創出を目指し、  
技術検証研究に関する新たな契約を締結  
- 対象範囲を新たな臓器に拡大 -**

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」と Pantherna Therapeutics GmbH(本社:ドイツ・ヘニングスドルフ、CEO: Klaus Giese、以下「Pantherna 社」)は、メッセンジャーRNA (mRNA)を用いたダイレクトリプログラミング(分化転換)\* による再生医療プログラム創出を目指し、技術検証研究に関する新たな契約を締結しました。

今回の契約は、アステラス製薬と Pantherna 社が 2021 年に契約した技術検証研究の対象範囲を新たな標的臓器に拡大するものです。

Pantherna 社は、mRNA を生体内で効率的に作用させるための最先端で独自の mRNA 分子 (PTXmRNAs) プラットフォームを有しています。今回の契約により、Pantherna 社の mRNA プラットフォームとアステラス製薬の高い創薬力を融合させ、ダイレクトリプログラミングのアプローチを用いた新たな標的臓器に対する再生医療プログラムの創出に関する研究を進めていきます。アステラス製薬は、創薬アイデアの提供、技術検証研究のための候補化合物の作製および治療モダリティ創製を目指した技術検証研究を担い、Pantherna 社は技術情報を提供しアステラスの研究活動をサポートします。

Pantherna 社の CEO の Klaus Giese は、「アステラス製薬とのコラボレーションが拡大すること、また、当社のユニークな mRNA 医薬技術の価値を最大化することに関心をもっていただいたことを大変嬉しく光栄に思います」と述べています。

アステラス製薬の開発研究部門長の澤本 泰治は、「今回の契約で Pantherna 社との提携の範囲を拡大することによって、新たな標的臓器に対する革新的な再生医療プログラムを創出し、これまで治療法が無かった患者さんに治療選択肢を提供することができる」と期

待しています。Pantherna 社との提携は、アステラス製薬の mRNA を治療モダリティとした専門性と、ダイレクトリプログラミングの研究領域で培ってきたケイパビリティを組み合わせた取り組みで、Focus Area アプローチ戦略に基づく新たなモダリティ/テクノロジーによる次世代の治療法の開発を推進するものです」と述べています。

本件によるアステラス製薬の業績への影響は、通期(2023 年 3 月期)連結業績予想に織り込み済みです。

以上

\* ダイレクトリプログラミング: 多能性幹細胞を介さずに体細胞から目的とする分化細胞に直接誘導させること。

<https://www.astellas.com/jp/science/direct-reprogramming-research-unit>

#### **アステラス製薬株式会社について**

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます (Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品 (Rx) 事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス (Rx+<sup>®</sup>) の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>) をご覧ください。

#### **Pantherna Therapeutics GmbH について**

Pantherna 社は、血管疾患のファーストインクラスの治療法を開発している非上場のバイオ医薬品企業です。内皮における mRNA 医薬の発現増強修飾と輸送のための高度なナノ粒子からなる革新的な技術プラットフォームを有しています。ドイツの首都ベルリンに近いブランデンブルク州のヘニングスドルフに本社を置いています。Pantherna 社の詳細については、(<https://pantherna-therapeutics.com/>) をご覧ください。

**注意事項**

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

**お問い合わせ先:**

アステラス製薬株式会社  
コーポレートアドボカシー&リレーションズ部  
TEL: 03-3244-3201